

山脈では初めての記録と思われる。其の後誰か採集した方がいるのかもかもしれないが、赤石山脈では千枚岳以外でこれが採集されたという話は聞いていない。採集した時はオノエリンドウと花色が異なるのでないかと思ったが、白馬岳で観察したかぎりでは異なるようである。

Gentianopsis yabei (Takeda et Hara) Ma var. ***akaisiensis*** Yamazaki, nom. nov.

Gentiana yabei Takeda et Hara var. *akaisiensis* Yamazaki, nom. nud. in Yamazaki, Uematsu, et Matsuda in Yamanashi-Kyoiku 6: 13, 1954 et in Takahashi in Bull. Kanagawa Pref. Mus. 1: 21, 1971, in syn., ut *Yatabei*.

Gentianopsis furusei H. Takahashi, l.c. 1: 21, f. 1, 1971; Satake in Satake et al., Wild. Fl. Japan 3: 32, pl. 25-4, 1981.

Type: Pref. Nagano, Kamiinagun, Jizodake (M. Furuse, Aug. 29, 1967, in Kanagawa Pref. Mus.).

Distr. Akaishi mountain range from Mt. Senzyo to Mt. Arakawa.

f. ***albiflora*** Yamazaki, f. nov.

Caulis viridis. Corolla alba.

Hab. Pref. Yamanashi, Mt. Kitadake, Kitadakegoya—Happonba, alt. 2800 m, in stony herbage (K. Fukazawa 3087, Sept. 1981, type in TI).

(東京大学 理学部付属植物園)

□鈴木昌友ほか：茨城県植物誌 340 pp. 1981. 茨城県植物誌刊行会（〒310 水戸市見和 2-186-2）自費出版。茨城大学教育学部の関係者が永年にわたる実地調査による標本にもとづいてまとめたものである。はじめの54頁には県内植物の概説と主な地域のフロラの説明があり、296頁までがリスト、以下は文献目録と索引になっている。コハコベのような従来の植物誌では無視されて来た普通植物の産地も丹念に挙げられており、努力と意気込みのほどが察せられる。費用を持ち寄っての自費出版とのことで、制約が大きかったと思うが、将来にそなえていくつか注文をつけたい。まず産地が原則として町村単位なのでもの足りない感じがする。評者の立場からいうと、これでは分布資料として利用し難い。適当なメッシュシステムの導入をすすめたい。標本の所在や採集者、日付なども欲しい。産地一覧表は50音順の方がよそ者には使いやすい。地図には経緯度を付してもらいたい。いずれにしてもこのように多くの標本の裏付けのある植物誌ができたことはよるこばしいことで、願わくば標本が誰でも参照できる場所に蓄積されることを希望する。
(金井弘夫)